

2023年5月26日

一般社団法人Jミルク

訪日外国人にウェルカムミルクを配布 6月1日（世界牛乳の日）・2日に成田国際空港で

Jミルクは、農林水産省の畜産・酪農緊急対策パッケージによる牛乳乳製品のインバウンド等消費拡大緊急対策（独立行政法人農畜産業振興機構の支援）を受け、「牛乳でスマイルプロジェクト」の一環として、6月1日の「世界牛乳の日」から2日間、成田国際空港で下記の通り、訪日外国人観光客に牛乳（ウェルカムミルク）をプレゼントするイベントを実施いたします。



訪日する外国人観光客に日本の牛乳・乳製品のおいしさを知ってもらい、来日中のインバウンドの需要喚起を図るほか、帰国後にも日本産牛乳・乳製品を購入してもらうことで、牛乳・乳製品の輸出促進につなげることを目指します。



このイベントを皮切りに、同省をはじめ関係者の協力を得ながら、全国の主要国際空港での同様のウェルカムミルクの配布イベントを計画しています。また、国内の観光地などで外国人観光客に日本産牛乳・乳製品を使った料理やデザートなどの試食販売、東・東南アジアを中心として現地での日本産牛乳・乳製品のPRイベントを2023年度内に実施する予定です。

記

- 主催 一般社団法人Jミルク
後援 独立行政法人農畜産業振興機構（インバウンド等牛乳乳製品消費拡大緊急対策事業）
- 牛乳配布予定日時
2023年6月1日（木）・2日（金） それぞれ午前10時から午後5時まで
- 場所
成田国際空港 第1ターミナル中央ビル1階
ビジターサービスセンター南側（次ページ参照）
- 配布物
訪日外国人お1人に対し、LL牛乳（200ml）1本をプレゼント
（2日間で約7,200名に配布予定）

- 配布協力
農林水産省、生乳生産者団体、日本乳業協会 ほか
- 取材についてお願い
事前のお申し込みは不要ですが、会場運営の都合により、6月1日にお越しいただきますようご協力をお願いいたします。



成田空港第1ターミナル



配布予定チラシ

※今後の訪日外国人や輸出先国での PR 活動などについては、特設サイトを開設してお知らせいたします(6月開設予定)。Jミルクサイトからご確認ください。事業概要は、農林水産省 PR 版(別紙 インバウンド等消費拡大緊急対策)をご参照ください。

牛乳の日・牛乳月間とは

酪農の盛んな地域では、新しい草が伸びる頃から放牧を始め、冬を牛舎で過ごした牛たちは野に放たれ躍り上がって喜び、思う存分青草を食みます。生命力あふれるこの時期、ミルク、これをもたらす命や自然、働く人々に感謝するお祭りやお祝いが世界各地で行われます。このことから2001年に国連食糧農業機関 (FAO) が、6月1日を「世界牛乳の日 (World Milk Day)」とすることを提唱しました。日本では日本酪農乳業協会 (現・Jミルク) が2007年に6月1日を「牛乳の日」、6月を「牛乳月間」と決めました。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】
一般社団法人Jミルク 生産流通グループ 関
東京都千代田区神田駿河台 2-1-20 お茶の水ユニオンビル 5階
電話：03-5577-7493

○ 牛乳乳製品のインバウンド等消費拡大緊急対策

<対策のポイント>

我が国の酪農は、飼料価格の高騰、需要減少などにより収益性が悪化しており、**離農の拡大がうかがわれるなど厳しい状況**にある。
このため、訪日外国人観光客や子ども食堂等を対象にした**牛乳乳製品の消費拡大対策**を新たに実施することで、**酪農経営の支援を強化**する。

<事業目標>

牛乳乳製品の消費拡大(生乳換算5,000トン)

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. インバウンド等を活用した輸出拡大

多くの外国人に国産牛乳乳製品の魅力を改めて知ってもらう機会とし、今後の輸出促進等につなげるため、①**全国の空港等**において**外国人観光客に国産牛乳を飲んでもらうための取組**、②**全国の観光地等**において**外国人観光客に国産の生クリームやナチュラルチーズを使った料理等の提供**、③**輸出先国における牛乳のプロモーション**等を支援します。

【参考1】訪日外国人観光客の多い月：
6～7月（全世界）10～12月（重点国）

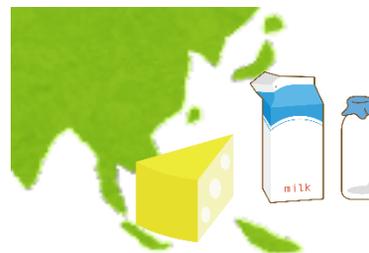
【参考2】主なターゲット国
香港、台湾、シンガポール、タイ、ベトナム、マレーシア



空港、温泉等で訪日外国人観光客に牛乳を安価に提供



訪日外国人に人気の観光スポットにてキッチンカー等により国産の生クリーム等を使った料理やスイーツを提供



輸出先国における牛乳等のプロモーション



乳業メーカー等が子ども食堂等に牛乳を安価に提供

2. 子ども食堂等への牛乳等の提供

学校給食の提供がない期間は子どもの成長に必要な栄養が十分に摂取できない等の課題があることから、**子ども食堂等を通じて栄養バランスに優れた牛乳等を提供する乳業メーカー等の取組**を支援します。

<事業の流れ>

